

うめナビ

2021.2
Vol.103

川崎市・横浜市等エリア※1

有名ホテル出身のシェフが作る 黒毛和牛A5ランク自慢のローストビーフを堪能!

Frank

Frank (横浜市神奈川区西神奈川、小熊シェフ、045・834・8020)は、東急東横線東白楽駅より徒歩2分にて店舗を構え、昼食や夕食の時間帯は地元の常連のお客様で店内が賑わう。気軽に本格的なホテルの味を提供したいという考えのもと、2015年より当地にて開業。コロナ禍の前にはテレビの取材を受けるほどの人気店。

同店の人気のメニューは、有名ホテルにて25年務めた小熊シェフがこだわった自慢の黒毛和牛A5ランクを使用した「ローストビーフ」である。こだわりはスチームをかけながら低温で1時間半をかけたじっくりと焼き上げる製法。味は、上品かつ噛むほど濃厚な旨みをストレートに味わえる。またかかっているフオンドをベースにしたソースは唯一無二の味であり、リピーターが絶えない。開店当時より絶大な人気を誇る。

数年前からテイクアウトにも注力しており、パーティー向けのローストビーフセットから、ランチでも人気のハヤシライスまで多岐にわたる。

また、月2回のイベント【月2テイクアウトの日】が好評。こちらのメニューも多彩で、ホテル出身の小熊シェフならではの引き出しの多さを感じられる。さらに、お正月向けの「洋風おせち」も毎年予約件数が増えており、昨年は11月下旬には予約販売にて早々に完売となった。このような状況下ではあるがこだわりの詰まった逸品を、ぜひ、店舗にて堪能していただきたい。



「体に優しい心に嬉しい」 ゆったりとした空間で手作りカフェごはんを

なっば

なっば(川崎市中原区新丸子東、佐藤菜穂美代表社員、044・281・0769、<http://www.nappa69.com>)は、新丸子と武蔵小杉でカフェを営む。

元々人と話すこと、お花が好きだった佐藤代表。子供の手が離れた頃から、いつしか自分のお店を持ちたいと思い、お花屋さんやカフェで10年近く働き、2010年8月に住み慣れた新丸子の街に「Hana CAFE nappa69」を開店した。

それから10年、カップル、ご夫婦、地元のおじいちゃん、おばあちゃんに「いつでも居心地の良い空間を」と、すべてのメニューを手作りで提供してきた。「大変なことも沢山ありますが、皆さんの嬉しそうなお顔、帰りがけに『美味しかったです。また来ますね』と笑顔で声を掛けていただくのが一番の励み」と佐藤代表。そんな常連さんとの縁から2020年11月、Kosugi 3rd Avenue 内に「KOSUGI CAFE



武蔵小杉駅前のKosugi 3rd Avenue内にオープンした「KOSUGI CAFE nappa69」

規模も大きいですが、「なっばのことをもっと沢山の皆さんに知ってほしい」「なっばのお料理を食べてほしい」との想いで出店を決めた。コンセプトは本店と同様、「花と植物、美味しいコーヒーとカフェごはん。体に優しい心が嬉しい、大好きなものを詰め込んだカフェ」だ。グリーンを採り入れた店内には、地元の絵本作家・アーティストにほっと和むようなイラストを描いてもらった。お料理は、オーガニック野菜を中心にメインからデザートまですべて心を込めて手作りしている。

コロナ禍という大変な状況でも、「体に優しい心に嬉しい」美味しくて健康的なお料理と空間をこれからもずっと、武蔵小杉の皆様にご提供し続ける。テイクアウトも承っておりますので、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

うめナビ
送付先業種
※2

商社
6先

スーパー・小売・百貨店
29先

メーカー
15先

マスコミ・出版
32先

教育(大学・専門学校)
34先

官公庁
34先

ホテル
7先

金融
48先

建設・不動産
13先

システム関連
9先

その他
40先

合計
267先

※1 一部、エリア外の企業も掲載しております。

※2 本誌は、城南信用金庫のお取引先にもお届けしています。

「社会に貢献するものづくり」 「オンブガード」で安心してお食事を

柳瀬工業所

柳瀬工業所（横浜市神奈川区三枚町、柳瀬輝行取締役社長、045-382-8359、<https://www.yanase-k.jp>）は、1988年の創業当時より、金型製作で培ったノウハウでアルミ、鉄、銅などの素材の精密板金加工、マシンニングセンター・NC旋盤などの切削加工、平面研削などの加工及び検査まで行い、多品種の試作品から量産までを受託する一貫加工メーカーだ。主に半導体関連、鉄道関連の精密板金加工品、機械加工品を高い技術と最新設備でスピーディーに製作する。素材の仕入れから、製作、表面処理まで、すべての工程を自社で管理することで、高品質（Quality）・低コスト（Cost）・短期（Delivery）を実現している。



肩に乗せる部分のクッションと、調整可能な腰ベルトで体に負担を掛けない。

コロナ禍の現状を受け、「社会に貢献するものづくり」の想いから、金属加工の技術を使い飲食時の飛沫感染を防ぐことができる商品を作れないものかと考え、試行錯誤の末「オンブガード」を開発、製造した。アルミを

使用し、見た目からは驚くほど軽量で負担なく使用でき、ぜひ多くの方にご利用いただきたい。（サイズ：幅30cm×高さ70cm×奥行50cm、重量：28kg、シールド部分：PET板0.5mm、フレーム部分：アルミ、顔のデザインシールドは無し可）

少しでもご興味を持っていただき、現物をご覧になりたい方には、無料でサンプルをお貸しできます。お気軽にお問合せください。

21世紀の主流 軽量ホイールは 多くのメリットを生み出す！

レーシングサービス
ワタナベ



渡辺俊之代表取締役

レーシングサービスワタナベ（横浜市鶴見区元宮、渡辺俊之代表取締役、045-573-5629、<https://www.js-watanabe.co.jp>）は、自動車のマグネシウム、アルミホイールの製造・販売を一貫して行っている。

1967年に創業し、レーシングカーの設計・製造をしていたが、レースで培った経験と技術を活かし、1972年に現在の会社を設立。時代を超えて支持されるホイールを生み出してきた。

車好きな方ならご存じだとは思いますが、人気漫画でアニメ、映画にもなった『頭文字（イニシャル）D』と『ドリキン（ドリフト・キング） 土屋圭市』で有名なAE86、RX7、スカイラインGTR等にマッチするスタイリッシュな8本スポークマグネシウムホイール

「エイトスポーク」は、同社の主力製品だ。所ジョージ、哀川翔、高橋国光、松田次生等の芸能人、著名人、現役レーシングドライバーにも多くの根強い愛好家がいる。

アルミより軽量のマグネシウムのホイールを使用することでバネ下荷重を下げ、タイヤを早く回すことができる。これによる運動性能、操作性向上のメリットが大きいことも、優れたデザインとともに同社の製品が人気である大きな理由だ。



車の基本要素を強化するエイトスポーク

ちなみに、少年ジャンプに連載され、アニメにもなった『よろしくメカドック』作中の登場人物で、主人公が尊敬するチューナー「ナベさん」は若かりし頃の同社社長がモデルである。

あなたも愛車のホイールを『エイトスポーク』に交換して異次元の走りを体感し、街中の人々の視線を釘づけにしてみませんか？

時代の変化に合わせた 「地域密着型かかりつけ薬局」をめざして

石井薬局



石井貞義代表取締役社長

石井薬局（横浜市保土ヶ谷区岡沢町、石井貞義代表取締役社長、045-333-1204、<http://www.shii-kusuri.com>）は、1970年に現代代表の母が、保土ヶ谷区で調剤薬局を開業。現在、保土ヶ谷区内で4店舗の調剤薬局を営んでいる。

1991年に現代代表である石井貞義氏が2代目代表取締役に就任。創業以来、「お客様本位」「安全・安心」「信頼」「地域密着」「地域貢献」を同社の基本方針に掲げている。地域の中には祖父母から孫まで、3世代にわたり、「かかりつけ薬局」としてご利用される方もいる。また、お客様の服薬指導だけでなく、細かな相談事についても顧客特性データとして蓄積している。そして蓄積したデータは

次回の相談時に役立てるとともに、従業員間でも情報共有されている。

従業員教育では、「どの世代でも話をしやすい雰囲気づくり」と「お客様の不安解消」をモットーにしている。石井薬局のSNS内で地域情報の発信をすることはもとより、健康に関する些細なことについても相談を承っている。最近の取組みでは、新型コロナウイルス感染症対策として、検温・消毒・換気のみならず、待ちスペースの適切な距離の確保を徹底、また、非接触決済として、キャッシュレス決済も取り入れている。

コロナ禍の今こそ、時代の変化に合わせた「地域密着型かかりつけ薬局」に相談してみたいかがでしょうか。